

平成 29 年度 大雪山国立公園における主な活動実績

地域政策推進事業

■ 自然観察会

- 1 目的：山岳トイレや登山道侵食等の問題を認識するという環境保全意識の醸成を図るとともに、高山植物や広大な風景などの魅力をPRする自然観察会を実施。
- 2 対象：登山初心者を中心とした一般公園利用者
- 3 実施内容：高山植物の保護・山岳トイレの現状・登山道の荒廃状況等についての事前レクチャー・施設概要説明・維持管理作業及び啓発活動等の実施など、環境保全を中心とした山岳ツアー
- 4 実施結果：下記のとおり

	コース	実施日	募集期間	募集人数	応募人数	採用人数	実施人数			備考
								一般人数	ガイド 対応職員数	
①	富良野岳コース (十勝岳温泉～原始ガ原)	7/1(土)	6/9(金)～6/23(金)	12	15	12	16	11	中川伸也氏 職員4名	
②	黒岳～間宮岳～裾合平コース	7/22(土)	6/26(月)～7/12(水)	12	20	12	14	8	佐久間弘氏 職員5名	
③	裾合平資材荷上げ体験コース	8/5(土)	7/10(月)～7/26(水)	12	7	7	10	7	双樹智道氏 職員2名	
④	黒岳・石室コース	9/10(土)	8/10(木)～8/30(水)	12	4	4	8	4	濱田耕二氏 職員3名	
⑤	スノーシューツアーin東川町	1/20(土)	12/12(火)～1/12(金)							
合計				48	46	35	48	30	18	-

■ 登山道保全技術セミナー

- 1 目的：利用者の増加や降雨等により登山道の浸食及び荒廃が進んでおり、環境保全及びそれらによる事故の可能性を軽減するという点も踏まえて登山道保全技術セミナー（たまには山へ恩返し）を行った。
- 2 主催：山樂舎 BEAR
- 3 対象：一般登山者、山岳会、関係行政機関等
- 4 講師：岡崎 哲三 氏（北海道山岳整備代表）
- 5 内容：荒廃した登山道の補修を通じて講師から保全技術を学び、山岳環境保全意識の向上を図るとともに今後の補修へつなげる。
- 6 特記事項：今年度の開催に当たっては、「(株)りんゆう観光」、「ワカサリゾート(株)」、「大雪山・山守隊」等の協力を得て開催することができた。
- 7 実施結果：下記表のとおり

	場所	実施日	参加人数	(内訳)	
				一般登山者 人数	山岳関係者 人数
①	たまには山へ恩返しin黒岳 (黒岳雲の平)	7/29(土)	58	29	29
②	たまには山へ恩返しin旭岳 (旭岳裾合平)	9/2(土)	41	25	16

例年実施しているもの

■ 高山植物保護対策事業（高山植物盗掘防止パトロール及び監視活動）

	実施場所	実施日	協力者(局以外)	合計人数	備考
①	富良野岳	7/1(土)	山岳ガイド、一般登山者	16	上記自然観察会と兼ねて実施
②	銀泉台～赤岳～小泉岳	7/9(土)	環境省上川自然保護官事務所、上川中部森林管理署、 上川町、日本山岳会北海道支部、自然保護監視員	12	-
③	黒岳～裾合平	7/22(土)	山岳ガイド、一般登山者	14	上記自然観察会と兼ねて実施
④	天塩岳往復	7/23(日)		2	-

■ 自然公園施設維持管理

自然公園内に所在する北海道管理の各種施設（公衆トイレ・避難小屋(トイレ含む)ほか)について、適宜維持管理を実施。

参考：平成29年度黒岳トイレ維持管理

供用期間：6/20(火)～10/4(水)

清掃(汲み取り)回数：4回(作業日：7/11、7/25、9/10、10/4)

※8/7～9/30の期間については、当該トイレの維持管理作業をNPO法人かむいに委託

※9/10は上記の自然観察会を兼ねて実施

■ 自然公園利用者指導

自然公園利用者に対し、適正な公園利用や環境保全意識の理解促進を促すため、次のとおり実施するとともに、必要に応じ職員による指導業務を実施。

(高原温泉地区利用者指導業務(受託者：風の便り工房)、旭岳ビジターセンター管理運営委託業務(受託者：東川町)等)

■ 自然公園施設整備

- ・天人峡羽衣の滝遊歩道災害復旧工事 外3件
- ・十勝岳望岳台園地公衆便所撤去工事
- ・黒岳トイレ補修改良工事 ほか